

今、聴きたい

女性作曲家を聴く・その10

女性と音楽研究フォーラム結成30周年記念コンサート

女性作曲家たち

～歌とピアノ、ヴァイオリンで綴る多彩な響き～

プログラム

< 歌曲 >

ポリーヌ・ヴィアルド (1821-1910) :

山の子、礼拝堂、カディスの娘たち、アイ・リュリ!

《ショパンの6つのマズルカ》より

金井喜久子 (1906-1986) : ハイビスカス

渡鏡子 (1916-1971) : 祭のまへ、わがうた

吉田隆子 (1910-1956) : 君死にたまふことなかれ、手

< ピアノ作品 >

ポリーヌ・ヴィアルド (1821-1910) : マズルカ

セシル・シャミナード (1857-1944) : エール・ド・バレエ op.30

リリ・ブーランジェ (1893-1918) : 《古い庭》より

ナディア・ブーランジェ (1887-1979) : ピアノのための3つの小品より

グラツィナ・パツェヴィチ (1909-1969) : ソナタ第2番より 第1楽章

< ヴァイオリン作品 >

幸田延 (1870-1946) : ヴァイオリンソナタ 第1番

吉田隆子 (1910-1956) : お百度詣

レベッカ・クラーク (1886-1979) : 真夏の月

出演

水越美和 (メゾソプラノ)、梅野りんこ (ソプラノ)、宮崎貴子 (ピアノ)

沼田園子 (ヴァイオリン)、蓼沼明美 (ピアノ)



ポリーヌ・ヴィアルド



金井喜久子



渡鏡子



吉田隆子



セシル・シャミナード



リリ・ブーランジェ



ナディア・ブーランジェ



グラツィナ・パツェヴィチ



幸田延



レベッカ・クラーク

2024年

11月17日 開演 HAKUJU HALL

14:00 開演 (13:30 開場)

(千代田線「代々木公園駅」出口1 / 小田急線「代々木八幡駅」南口 徒歩5分)

全席自由 4,000円

チケット取り扱い
お問い合わせ

ビーフラット・ミュージックプロデュース 03-6908-8977
<https://www.bflat-mp.com>



チケットぴあ
Pコード: 273566



主催: 女性と音楽研究フォーラム (代表: 辻浩美)

マネジメント: ビーフラット・ミュージックプロデュース

コンサート「今、聴きたい女性作曲家たち

～歌とピアノ、ヴァイオリンで綴る多彩な響き～に寄せて

女性と音楽研究フォーラムは昨年迎えた結成30周年を記念し、5年ぶりにコンサートを開催いたします。フォーラムの活動は定例会での研究発表が中心ですが、女性作曲家を聴くコンサートの企画・開催も重要な活動のひとつです。10回目当たる今回のコンサートでは、フォーラムの会員による演奏を中心に19世紀半ばから20世紀半ばにかけて活動したヨーロッパ（イギリス、フランス、ポーランド）と日本の女性作曲家10人の作品を採り上げました。彼女たちの音楽を初めて耳にする方も多いと思いますが、出身国や音楽的な作風の異なる多彩な響きを楽しんでいただければ幸いです。

昨今、ジェンダー平等に関するニュースを聞く機会が多くなりました。音楽界でもジェンダーをテーマに置いた企画や、女性作曲家による作品を集めたコンサート・プログラムをよく目にします。こうした動きが時流に乗った一時的なものに終わらないためには、彼女たちの作品を紹介し、繰り返し演奏することが重要です。本コンサートが新しい音楽史構築への確かな一歩になることを切に願っています。

女性と音楽研究フォーラム代表・辻浩美



水越美和 メソソプラノ

お茶の水女子大学卒業、同大学院修士課程修了。

(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部および東京アルテ・シェニカオペラ研究所修了。1997

年ニース国際アカデミー、1999年フェズ国際音楽アカデミーにて歌曲の演奏法を学ぶ。2021年、お茶の水女子大学大学院博士後期課程にて博士号を取得。博士学位論文題目は「オペラ歌手ボリーヌ・ヴィアルド＝ガルシア(1821-1910)の活動とガルシア家＝パリ・イタリヤ座デビューに至る足跡を中心に」。現在、お茶の水女子大学非常勤講師、日本音楽学会会員、日本声楽発声学会会員、藤原歌劇団団員、〈アンサンブル・ヴァリエ〉メンバー、女性と音楽研究フォーラム会員。



梅野りんこ ソプラノ

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。横浜、スイス、ノルウェー、イラクでリサイタルを開催。1995年から2003年

まで横浜市会議員を2期務める。2004年横浜国立大学環境情報学部入学。2005年よりフランスパリ第12大学に通算3年間留学。オペラとジェンダーについて研究する。留学期間中居住するパリ国際大学都市にて、毎年コンサートを企画、自らも演奏する。2012年横浜国立大学にて学術博士号を取得。同年より毎年開催の東京藝術大学声楽科542年度生コンサートに同級生とともに参加、現在実行委員長を務める。著書「オペラのメディア～近代ヨーロッパのミソジニー」等。女性と音楽研究フォーラム会員。



宮崎貴子 ピアノ

東京音楽大学ピアノ演奏家コース、同大学院を経てドイツ・ハノーファー音楽演劇メディア大学修士課程フォルテピアノ修了。

在学中、同大学オペラ科にて伴奏助手を務める。2013年シューベルト国際コンクールリートデュオ部門第1位（於ドルトムント・ドイツ）ほか、国内外のコンクールで多数受賞。女性作曲家作品の紹介、リート伴奏、フォルテピアノを軸に多彩な活動を展開し、国内外の誌上・紙上にて高い評価を得ている。ピアノ音楽誌『ショパン』にて「聴いてみませんか？弾いてみませんか？女性作曲家作品あれこれ」連載（2017年5月～2020年10月）。全日本ピアノ指導協会正会員。公式サイト <https://takakomiyazaki.jp> 女性と音楽研究フォーラム会員。



沼田園子 ヴァイオリン

東京藝術大学音楽学部弦楽科を首席で卒業、大学院博士課程単位取得。バガニーニ生誕200年祭国際ヴァイオリンコンクール他、国際コンクールに上位入賞多数。日本音楽コンクール作曲部門の演奏に対して審査委員会特別賞、アール・レスピランのメンバーとして中島健蔵賞、静岡県文化奨励賞をそれぞれ受賞。1990年より水戸室内管弦楽団の常任メンバーを25年務める。ソリスト、ゲストコンサートマスターとして主要オーケストラと共演。ヨーロッパ各地で協奏曲、リサイタル、室内楽の演奏会、音楽祭に出演。1986年よりファイン・デュオとして全国にて演奏会を開催。2015年カルテット・ブラチナムを結成。ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲を演奏。CDはベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ全曲、「日本の聲」Vol.1 II III IVをリリース、絶賛を博す。現在、東京藝術大学講師、洗足学園音楽大学客員教授、女性と音楽研究フォーラム会員。



蓼沼明美 ピアノ

東京藝術大学附属音楽高校を経て、同大学音楽学部を首席で卒業。同大学院修士課程修了。大学院在学中ロンドンに留学。マリア・カナルス国際コンクールの「ヴァイオリンとピアノの二重奏」部門

で第2位入賞。日本音楽コンクールのチェロ部門における共演に対して審査委員会特別賞受賞。特にアンサンブル・ピアニストとして活動し、内外の多くの演奏家と共演、高い評価を得ている。姉、蓼沼恵美子とピアノ・デュオとして活動し、CD「姉妹デュオによる珠玉の連弾」をリリース。ヴァイオリニストの沼田園子とともに「ファイン・デュオ」として東京をはじめ全国各地で展開するデュオ・リサイタルは毎回高く評価されている。東京学芸大学非常勤講師。

女性と音楽研究フォーラム

女性と音楽研究フォーラムは、「女性と音楽」への関心をひとつのキーワードに、演奏家、研究者、教師、学生、図書館員等、音楽に携わるさまざまなメンバーから構成されています。音楽をジェンダー、フェミニズムの視点から研究し、多くの人に広めることを目指して1993年に結成され、昨年30周年を迎えました。会員の研究発表や講師を招いての勉強会を中心とした定例会、女性作曲家のコンサートの開催、会員の執筆による翻訳や出版などを行っています。

<http://www.women.music-f.net>

Women & Music Study Forum

HAKUJU HALL

渋谷区宮ヶ谷 1-37-5
Tel 03-5478-8667

代々木公園駅（千代田線）出口12
代々木八幡駅（小田急線）南口
各駅より徒歩5分

ホールにはお客様用の駐車場は
ございません。
近隣の駐車場をご利用ください。

